

お帰りなさい 吉良さん

中国から一時帰国

中国残留日本人孤児の吉良雅恵（中国名・楊鳳蘭）さんが、夫の李振元さん、二女の李艶萍さんとともに五月二十七日、一時帰国しました。

吉良さん一家は、昭和十七年、吉林省の平安高知開拓団の一員として中国へ渡りました。ソ連の参戦で新京へ避難し、帰国のときに雅恵さんだけ現地に残り、そのまゝ行方がわからなくなりました。

昨年八月、母親の吉良玉尾さんが平安高知開拓団訪問中に参加して訪中して対面し、別れたときの状況や身体的特徴から親子である

ことが確認されました。

この日、汽車で高知入りした雅恵さん一家は、市役所で行われた歓迎会に出席。小笠原市長らの歓迎の言葉を受けてあいさつに立った雅恵さんは「感激で言葉も出ません。思っていた通りのすばらしい故郷です」と話していました。

この後、吉良さん一家は、故郷の浜改田へ。地元の方々の温かい歓迎を受けました。

雅恵さんたちは、母親や兄弟の住む浜改田で約半年間滞在することになっています。



市役所で行われた歓迎会（中央が吉良雅恵さん）



浜改田での温かい歓迎にうれしそうな吉良さん

健康づくりは

正しい食生活から

食生活改善推進教室が開講

健康づくりは正しい食生活からと、五月二十一日、市役所大会議室で「食生活改善推進教室」が開講しました。

これは、正しい食生活を地域に広める食生活改善推進員を育成し、健康づくりを進めようと開いているもので、今年で四回目。市内各地区から四十二人の主婦の皆さんが受講します。

開講式では、吉本助役が「今、過食と美食になじんだ生活をいかにバランスのとれた栄養と節度のある日常生活に切り替えるか、食



受講生を代表して岩村公子さんが力強くあいさつ

生活のあり方が重要視されています。皆さん方もこの教室を修了された、南国市の健康づくり推進のために積極的な協力をお願いします」とあいさつ。続いて、石川善紀中央保健所長、土居与千代市食生活改善推進協議会長が祝辞を述べた後、受講生を代表して長岡地区の岩村公子さんが「この教室で十分勉強し、家族の健康づくりはもちろん地域の健康づくりに役立っていきたいと思います」と力強くあいさつしました。

その後、石川中央保健所長が「成人病予防について」と題して、スライドを見ながら成人病と平均寿命の関係について講演。そして、中央保健所の中野俱子栄養班長から食生活改善推進員の役割や栄養教室の内容などについての説明があり、出席者はメモを取りながら熱心に受講していました。

参加者は来年度二月までの十回のカリキュラムを修了した後、食生活改善推進員として地域に健康づくり運動を広めるために活躍することになっています。